

## 4 歳児 IV期 (11月～12月)

### 預かり保育

### 長時間保育

ねらい

- ◎ 預かり保育の生活の中で必要なことが分かり、自分から行おうとする。
- ◎ 季節の変化を感じ、寒さに負けず戸外で遊ぶ。
- ◎ やりたい遊びに取り組む中で、様々な表現を楽しむ。

- ◎ 長時間保育での生活の中で必要なことが分かり、自分から行おうとする。
- ◎ 季節の変化を感じ、寒さに負けず戸外で遊ぶ。
- ◎ 友達との遊びの中で、様々な表現を楽しむ。

内容・活動等

- 挨拶、身支度、間食の準備・片付けなどに、自分から取り組む。
- 防寒具の扱いや戸外から戻った後の手洗いやうがいなど、冬の生活に必要なことを知る。
- 冬の生活に必要な身の回りのことを、自分でやろうとする。
- 寒さに負けず、縄跳び、フープ、鬼遊びなどを楽しむ。
- 自分からやりたい遊びに関わり、遊びを楽しむ。
- やりたい遊びに合わせて、材料を選ぶ、組み合わせる、見立てるなどして使う。
- 預かり保育を利用している友達に親しみを持ち、一緒に遊びたい友達に関わる。
- 友達に、自分の思いを伝えながら遊ぶ。
- 一緒に遊ぶ中で友達の思いに気付くようになる。

- 挨拶、身支度、間食の準備・片付けなどに、自分から取り組む。
- 防寒具の扱いや戸外から戻った後の手洗いやうがいなど、冬の生活に必要なことを知る。
- 冬の生活に必要な身の回りのことを、自分でやろうとする。
- 寒さに負けず、縄跳び、フープ、鬼遊びなどを楽しむ。
- 自分からやりたい遊びや一緒に遊びたい友達に関わり、遊びを楽しむ。
- やりたい遊びに合わせて、材料を選ぶ、組み合わせる、見立てるなどして使う。
- 今までにやったことを思い出したり、遊びに取入れたりする。
- 友達に、自分の思いを伝えながら遊ぶ。
- 一緒に遊ぶ中で友達の思いに気付くようになる。

◇ 環境構成

- ◆ 身の回りのことに取り組む場面では、個人差を考慮し、時間にゆとりをもたせるとともに、個々のスペースを確保し、幼児が主体的に取り組めるような環境を確保する。
- ◆ 必要に応じて暖房や加湿器を使用したり換気をしたりして、温度や湿度を管理し、健康に過ごせる環境を整える。
- ◆ 防寒具の扱いや手洗いやうがいなどの手順とその必要性を伝えるため、分かりやすいイラストや写真などを掲示する。
- ◆ カレンダーや季節の絵本を取り入れながら、一年の終わりや年末・年始の過ごし方に関心をもたせる。
- ◆ 日没が早くなり、室内で過ごす時間が長くなるので、カードゲームやトランプなど、友達とゆったり過ごせる遊びを提示するとともに、どの遊びもゆったりと遊べるように場を確保する。
- ◇ 遊びに必要な物を作る際に、様々な材料を使って作る楽しさを感じられるように、教育活動の経験や今までの預かり保育での経験を踏まえつつ、材料を用意する。
- ◇ 寒い戸外でも、少人数や一人でも遊べるような遊び（簡単な鬼遊びや縄跳び、フープなど）を取り入れる。
- ◇ 遊びに必要な物を作る際に、様々な材料を使って作る楽しさを感じられるように、日中の教育活動の経験や今までの長時間保育での経験を踏まえつつ、材料を用意する。
- ◇ 寒い戸外でも、友達と一緒に楽しめるような簡単な鬼遊びや運動遊びを取り入れる。
- ◇ 気の合う友達同士でイメージを出しながら遊ぶ楽しさが味わえるように、場作りのためのカーペットや段ボールの仕切り、テーブルなどを用意する。

4 歳児

教育活動後の期ごとの指導計画例

## 預かり保育

## 長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 日没が早くなることで不安を感じる幼児もいるので、その気持ちに寄り合いながら、様々な遊びに誘ったり、スキンシップを図ったりして、安心して過ごせるようにする。</li> <li>★ 生活に必要なことが分かり、自分から取り組む姿勢を大いに認める。</li> <li>★ 感染症予防のために、手洗い・うがいの大切さを伝え、保育者がモデルとなって示す。</li> <li>★ 寒い時は上着を着る、動いて温かくなってきたら脱ぐなど、気温の変化や体調に合わせて衣類の調整を促す。</li> <li>★ 冬季休業中の保育では、いつもと流れが異なるので、そのことを丁寧に知らせ、幼児が安心して過ごせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 自分のイメージや思い付いたことを表現しようとする姿勢を認め、その楽しさを共感する。</li> <li>☆ 友達と遊ぶ中でトラブルになったときには、互いの思いを受け止め、一緒に解決方法を考える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 自分のイメージや思い付いたことを表現しようとする姿勢を、共感をもって受け止め、表現する喜びを味わえるようにする。</li> <li>☆ 友達と思いを出し合ったり、自分たちで遊ぼうとしたりする姿勢を認める。トラブルになったときには、互いの思いを受け止め、一緒に解決方法を考える。</li> </ul>	

☆ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ それぞれの時間帯で使っている教材や楽しんでいる遊びを紹介するなど、それぞれの保育について情報を交換し、参考になることを保育に取り入れる。</li> <li>▲ 気候の変化に伴い、体調を崩しやすい時期であるため、一人一人の体調の変化に留意し、保育者間の情報を共有する。</li> <li>▲ 夕方になると一日の疲れも見られるので、保育者間の連絡を密にし、幼児が安全に遊べるように見守る。</li> <li>▲ 個人面談の前には、事前にその幼児の成長と課題について、保育者間で情報を共有し、保護者に伝える内容を整理する。</li> <li>▲ 個人面談終了後は、保護者と話した内容を、保育者間で共有し、指導に生かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 冬季休業中の過ごし方（持ち帰る物、大掃除の方法、異年齢交流など）を保育者間で話し合う。</li> </ul>

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 個人面談を設定し、遊びの様子や友達との関わりの中で変容した姿を伝え、成長を喜び合う。</li> <li>■ 手洗いやうがいなど冬の健康的な生活習慣について、園の取組を知らせるとともに、家庭にも協力を求め、習慣の定着を図る。</li> <li>■ 外遊び用の上着や日常的に使う防寒着は、動きやすく、幼児が自分で扱うことができる物を用意してもらうように依頼する。</li> <li>■ 感染症が流行する時期であるため、体調の変化が見られた場合は詳細を伝え、注意を促す。</li> <li>■ 園やクラスで感染症が発生した場合は、症状などを具体的に知らせ、注意を促す。</li> <li>■ 感染症に罹患した場合は、出席停止の扱い、登園許可証の提出などについて伝え、協力を求める。</li> </ul>	

## 4 歳児 V 期（1 月～3 月）

### 預かり保育

### 長時間保育

ねいこ

- ◎ 進級への喜びや期待をもち、預かり保育での生活を楽しむ。
- ◎ 保育者や友達と関わりながら、やりたい遊びを楽しむ。

- ◎ 進級への喜びや期待をもち、長時間保育での生活を楽しむ。
- ◎ 友達と関わることを楽しみながら、自分の力を発揮して、遊びを楽しむ。

内容・活動等

- 預かり保育での基本的な生活の仕方を身に付け、自分でできることを自分で行う。
- 生活のきまりや遊びのルールを守って行動しようとする。
- 自分が様々なことをできるようになったことが分かり、成長を実感する。
- 季節ならではの遊び（正月遊びなど）や戸外での遊びを楽しむ。
- 遊びの面白さを感じながら、やりたい遊びを楽しむ。
- 異年齢児や友達が行っていることに興味をもち、一緒に遊んだり挑戦したりする。
- 同じ遊びをする友達に親しみをもち、思いを出し合って遊ぶ。

- 長時間保育での基本的な生活の仕方を身に付け、自分でできることを自分で行う。
- 生活のきまりや遊びのルールを守って行動しようとする。
- 自分が様々なことをできるようになったことが分かり、成長を実感する。
- 季節ならではの遊び（正月遊びなど）や戸外での遊びを楽しむ。
- 5 歳児や友達が行っていることに興味をもち、真似たり挑戦したりする。
- 異年齢児と一緒に遊び、親しみの気持ちをもつ。
- 気の合う友達と、思いを出し合って遊びを楽しむ。

4 歳児

◇ 環境構成

- ◆ 進級に向けた活動や行事等により疲れも予想されるので、必要に応じて休息がとれる場を設ける。
- ◆ 教育活動での保育内容や日没時間等を考慮しつつ、戸外で遊ぶ時間を確保する。
- ◆ 日中に取り組んだ遊びを繰り返し楽しめるように、遊具等を用意する。（正月遊び、フープ、縄跳びなど）
- ◆ 異年齢児と関わって遊ぶことを楽しめるような遊びを取り入れ、共通の場を設けたりルールを工夫したりする。
- ◇ 預かり保育における遊びや生活、身の回りの仕事などを体験しながら引継いでいけるように、5 歳児の姿を見たり交流したりできる場を構成する。
- ◇ 幼児の主体的な遊びが促されるように、預かり保育を利用する幼児が今までに楽しんできた遊びを振り返り、遊具を用意する。
- ◇ 長時間保育における遊びや生活、身の回りの仕事などを体験しながら引継いでいけるように、5 歳児の姿を見たり交流したりできる場を構成する。
- ◇ 5 歳児のごま回しや縄跳びなどの様子を見たり、教わったりするなどの関わりがもてる場を構成する。
- ◇ 気の合う友達同士で自分たちの場を確保して遊ぶことができるように、ござやつい立てなどを自由に使えるようにしておく。

教育活動後の期ごとの指導計画例

## 預かり保育

## 長時間保育

☆ 保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 自分で気が付いて身の回りのことをしたり、生活の場を整えたりする姿勢を認め、自信につなげる。</li> <li>★ 異年齢同士で遊ぶ場では、必要に応じて保育者が遊びに加わり、ルールや遊び方を知らせたり、関わりを仲介したりするなどの援助をする。</li> <li>★ 友達との遊びの中で、自分の思いや考えを表現できるように励ましたり代弁したりする。互いの思いがぶつかる場面では、一人一人の気持ちを丁寧に受け止めると同時に、相手の気持ちに気付けるように仲立ちをする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 幼児が気持ちを切り替えて預かり保育での生活に向かうことができるように、一人一人と丁寧に挨拶や会話を交わしながら受け入れる。</li> <li>☆ 幼児が進級後の生活に期待や見通しをもつことができるように、預かり保育での5歳児の様子に関心が向くような働き掛けをする。</li> <li>☆ やりたい遊びに取り組む中で、楽しんでいけることに共感したり、自分の思いを表す姿を受け止めたりする。</li> <li>☆ 友達同士で遊ぶ中で、一人一人が自分の思いを出したり相手の思いに気付いたりしていけるように、仲介をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 幼児が安定して長時間保育での生活に向かうことができるように、一人一人とスキップを図り、丁寧に受け入れる。</li> <li>☆ 幼児が進級後の生活に期待や見通しをもつことができるように、長時間保育時の5歳児の生活の様子に関心が向くような働き掛けを行ったり、5歳組の保育室と一緒に見に行ったりする。</li> <li>☆ 気の合う友達と思いを出し合いながら遊びを楽しむ姿を認める。</li> </ul>

△ 保育者間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 生活発表会に向けての活動や、当番活動の引継ぎ、お別れ会の準備など、様々な活動が入ってくるので、疲れや興奮が見られる幼児も予想される。学級担任は教育活動時の様子を丁寧に伝える。</li> <li>▲ 感染症が流行する時期であることを踏まえ、幼児の体調については、特に細かく引継ぎを行う。また、各クラスの状況（罹患者数など）の情報を共有する。</li> <li>▲ 一人一人の幼児の成長と課題について、保育者同士で話し合う機会をもち、共通理解をした上で次年度に引き継ぐ。</li> </ul>
-----------	---

□ 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この時期ならではの生活発表会に向けての取組、当番の引継ぎ、お別れ会など進級に向けた取組などについて、口頭や掲示で知らせる。</li> <li>■ 感染症の発生状況や手洗い、うがいなどの予防の大切さを知らせるとともに、家庭でも体調の変化に留意してもらうように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 進級に向けての不安や期待を受け止め、話を聞いたり、5歳児クラスでの過ごし方を伝えたりして、安心感をもって進級を迎えられるようにする。</li> <li>□ 進級に向けて、生活の仕方が変わることなどを、分かりやすく掲示したり説明したりする。</li> <li>□ 一年間の園への理解、協力に対するお礼を伝えたり、進級に向けて生活を見直してもらったりする。</li> <li>□ 幼児の成長の姿を具体的に知らせ、ともに成長の喜びを共有する。</li> </ul>
-----------	---	--